平成２８年度　第3学年進路説明会あいさつ

平成28年7月9日

皆さんこんにちは。

本日は、保護者の皆様にはご多用の中、授業参観及び進路説明会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

　まもなく夏休みになります。４０日以上の間の長い休みとなります。

私立入試中心日まで、約２００日。公立入試まで約２４０日。

この間、銀杏祭、合唱コンクールがあり、まだまだ３年生には学校の先頭に立って盛り上げてほしいと思っています。それだけに、進路に関しては、早め早めに、そして、計画的に進めていくことが大切だと思います。

さて、公立高校入試については、平成29年3月２日（木）の学科試験と3日（金）面接の試験になりました。また、今年度の入試から高校によって、数学と英語が「学校選択問題」で実施する学校が県内で20校あります。さらに全ての教科が50分となりました。

　細かな説明は、この後あると思いますので、私から３つお話します。

1. 中学校３年での進路決定は、人生で最初の人生選択となります。

保護者の皆様の中には、すでにお子さんを卒業させた経験をなされ、「進路のことは、初めてではない」とお考えの方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、３年生は、どの生徒にとっても、みな初めての経験です。

ぜひ、お子さん任せ、ということでなく、新たな気持ちで、また、初めてという意識で、お子さんの進路について共に考え、一緒に歩んでいってほしいと思います。

②今は、進路決定の多くが、高校進学となっています。

そこで、高校をどう選べばよいのか、が最も大切なことの一つです。

そこで言いたいのは、「まずは、皆さん自身の目で、また、保護者の皆さんの目で、実際に高校を見学してきてください」ということです。

高校説明会や授業体験等、皆さん自身の目で、肌で感じてみることが何より大切です。

③１，２年の復習と、３年の授業の振り返りをしっかりとする。

夏休みは授業が止まっている、と言えます。その間、充分な振り返りをしておくことが、皆さんの財産となると思います。

最後になりますが、

「進路」に関わって、生徒の皆さんと最後まで関わるのは３年の先生方です！

このことをぜひ大事にしながら、「進路」という最初の関門を乗り切っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。